

京都での超ミニ同期会、1月の京都雑感

布施修一郎(6組)

65期テニス同好会での仲間、佐藤徹郎君(7組)が東京のタワーマンションから京都のマンションに昨年10月に引っ越されました。ゲストルームがあるので遊びに来てとの一言に図々しく予約をお願いして令和8年1月17～19日に訪れました。今回は、同郷で大学でも同期の中村良一君(11組)も一緒にお願いし、夜は3名での超ミニ同期会、昼は自由行動という形をとりましたが、佐藤君のマンションは徒歩で先斗町まで5分、祇園まで7、8分という地元の人も羨む一等地にあり、楽しい3日間を過ごすことが出来ました。

1日目の夕食は、先斗町にある有名なおばんざいの店、佐藤君が既に常連になっている「ますだ」にて祝杯をあげました。まだ、一月ですので私たちには珍しい関西のお雑煮、白味噌に丸餅を味わうことが出来ました。酒は、とりあえずビールの後、ぬる燗で辛口の日本酒、三人で8合は健康的かどうかは？

2日目は、祇園の路地裏にある、「千花」にてコース料理で飲食、前日同様の酒量の中、話題はいろんな方面へ。佐藤君と中村君はハッキリとした面識はなかったものの、やはり同期の間柄、最近のHPからの小川達郎君(7組)の「駅そば発祥の地」についてから始まり、7組の人材豊富さの話など、話は尽きることはありませんでした。

昼間の自由行動ですが、真面目な中村君は高島屋、伊勢丹、京都駅に行けば購入できる土産品を生産元に敬意を表して購入すべく何軒も徒歩で訪れたとのこと。

私は、かねてから訪れたかった赤松小三郎の遭難暗殺場所、墓、布施家の元と言い伝えられてきた浄蔵貴所に関する場所やパワースポットを電動自転車をレンタルして訪れました。浄蔵貴所につきましては、京都の人で知っている人は殆どいない為、その塚などを見つけるのに苦慮し、走行距離は20kmを超えてしまいました。浄蔵貴所は、修験者として大峯山に入山する姿が祇園祭の山伏山の御神体となっていることなどからも窺えるように、古の京都ではその超人的な能力でつとに知られた存在でした。しかし、なぜか現在では安倍晴明らに比べるとその存在が広くは知られておりません。

以上ですが、佐藤徹郎君には感謝感謝で帰宅いたしました。

感じた事

- ・やはり、中国人がいない為比較的空いていた
- ・他の外国人は当然のこと多い
- ・駅のエスカレーターの立ち位置は、大阪と違って観光客が多いからか東京式で左側
- ・外国人がキチンと信号待ちしていた

- ・若い韓国人カップルは男女とも殆ど着物姿
- ・自転車の通行区分があり、自転車に優しい街。ヘルメットの装着率は低い
- ・公営バスは全線 230 円に統一されており便利
- ・赤松小三郎の墓標などは質素過ぎて可哀想な感あり
- ・何度訪れても見聞きするもの多く、飲食には事欠かない



左から中村、佐藤、布施



赤松小三郎の墓標



2026 年 1 月 20 日 記

以上